

## 令和8年度 第1回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

- 1 日 時 令和8年4月3日(金) 13:00~14:30
  - 2 場 所 大学本館2号館4階 多目的ホール
  - 3 出席者(15名)(敬称略、選出区分順)  
学内:石丸、長田、中田、足立、澤田、檜本、森本、石田尾、宗、東、藤野  
学外:櫻井、安元、田中、早川  
欠席者(0名)  
学内:なし  
学外:なし
  - 4 委員長の互選及び副委員長の指名  
中山議長から、学内役職者改選に伴い、本委員会委員長を辞する旨の報告があった。  
中山議長から、自薦または他薦の有無について確認があり、委員互選の結果、石丸委員が委員長として選出された。  
石丸委員長から副委員長に長田委員を指名したい旨の提案があり、承認された。
  - 5 報告事項等
    - (1) 令和8年度 第1回迅速審査小委員会について  
石丸委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査5件について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を齋藤前迅速審査小委員会委員長が確認したので承認とした並びに本学が共同研究機関である他機関共同研究の中央一括審査の新規申請1件について、内容を確認し承認とした旨の報告があった。
- 新規申請(迅速審査)
- ① 研究責任者: 産業保健学部 広域・発達看護学 教授 松浦 祐介  
研究課題名: 5年以上の経過を観察した子宮頸部軽度異形成の転帰  
審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
  - ② 研究責任者: 産業医科大学病院 消化管内科、肝胆膵内科 助教 荻野 学芳  
研究課題名: 消化器疾患関連因子の探索: 人間ドッグ/職域健診データの縦断観察研究  
審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
  - ③ 研究責任者: 産業保健学部 広域・発達看護学 教授 森本 眞寿代  
研究課題名: 母性看護技術自己評価におけるWEBシステム活用の有効性  
審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
  - ④ 研究責任者: 産業生態科学研究所 人間工学 講師 谷 直道  
研究課題名: 陸上貨物運送業における労働者の腰痛とその予防対策に関するweb調査結果の二次解析  
審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

- ⑤ 研究責任者： 医学部 第1生理学 教授 丸山 崇  
研究課題名： コホートデータを用いた認知症発症リスク要因の発掘  
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○新規申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸  
研究課題名： 「防毒マスク内濃度の見える化」技術の構築  
研究代表機関： 名古屋大学  
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

6 審議事項等

- (1) 令和7年度 第12回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について  
石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (2) 令和8年度倫理委員会開催日程（案）について  
石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (3) 標準業務手順書の改訂案について
- ① 産業医科大学 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書  
石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、症例報告の例数の記載について引き続き検討することとなった。

7 研究倫理審査

- (1) 新規申請（個別審査）
- ① 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 教授 立石 和子  
研究課題名： 慢性期病棟看護師の臨床判断能力の現状に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

1. 研究課題名  
・「能力」の文言を削除する。
4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法  
・インタビューの時間（60分程度）を追記する。
14. 研究により得られた結果等の取り扱い 1) 結果の説明  
・「行わない」に修正する。

○参加される方への説明文書

1. 研究課題名  
・「能力」の文言を削除する。
5. 研究の方法について  
・インタビューの時間（60分程度）を追記する。
7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて  
7-3. 研究対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策について  
・アンケートではないため、「回答は無記名」を削除する。

○同意書、同意撤回書、研究参加のお願い

- ・研究課題名の「能力」の文言を削除する。

(2) 新規申請（継続審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景  
研究課題名： 騒音作業場における聴覚保護具の使用に関する調査  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

- ・「耳栓やイヤーマフといった聴覚保護具」の文言は初出のみ記載し、以降は「聴覚保護具」に統一する。

9. 研究対象者の利益 1) 研究対象者の利益

- ・「騒音障害防止のための啓発資料」を「粗品」（文語、ハンドタオル）に修正する。

○参加される方への説明文書

- ・「耳栓やイヤーマフといった聴覚保護具」の文言は初出のみ記載し、以降は「聴覚保護具」に統一する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-1. 研究対象者の利益について

- ・「騒音障害防止のための啓発資料」を「粗品」（文語、ハンドタオル）に修正する。

○事業所向け文書

- ・「耳栓やイヤーマフといった聴覚保護具」の文言は初出のみ記載し、以降は「聴覚保護具」に統一する。

(3) 新規申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 産業保健学部 成人・老年看護学 助教 森園 久美  
研究課題名： 施設入所中の高齢者に対するアロマセラピーの効果検証  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

9. 研究対象者の利益

- ・「無し」にチェックが入っているが、「参加される方への説明文書」の7-1. 研究対象者の利益に記載されている間接的利益（将来的に働く人の利益につながる）について記載する。

○参加される方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-2. 研究対象者の負担及び予測されるリスクについて

- ・質問票への回答時間（15分程度）を追記する。

- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅  
研究課題名： 消防活動時の冷却装置による深部体温抑制効果と熱中症リスク低減に関する研究  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

2. 実施体制 【本学の研究者】

- ・堀江先生の「所属」及び「職名」を「学長修に修正する。

○参加される方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて

7-2. 研究対象者の負担及び予測されるリスクについて

- ・実験自体は90分で、着替えの時間を含めて約2時間の時間的拘束があることを記載する。

(4) 試料・情報の収集・提供のみ/研究協力機関の申請

① 提供責任者： 医学教育担当教員 教育教授 山本 幸代

研究課題名： 日本における1型糖尿病の子ども及びその主たるケア提供者の負担を評価する横断的研究

研究代表機関： サノフィ株式会社

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- ・資料・情報を「提供しない」に修正する。

(5) 変更申請（個別審査）

① 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景

研究課題名： 通信機能付きデバイスにおける高騒音下での発話音声の明瞭度評価方法に関する研究

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久

研究課題名： 女性の健康と労働に関するインターネット調査

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者： IR推進センター 准教授 井上 彰臣

研究課題名： 職場における心理社会的な安全風土・リスクリングが労働者の健康に及ぼす影響：前向きコホート研究

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景  
研究課題名： 医師の長時間労働を的確に把握する方法及びその対策についての検討  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明  
研究課題名： 生産現場のセンサデータに基づく作業負荷推定に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅  
研究課題名： バーチャルリアリティ利用中の生体情報によるメンタルヘルス・モニタリング手法の構築－Head Mounted Display による測定手法の標準化－  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(6) 変更申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 情報管理センター 准教授 村上 玄樹  
研究課題名： 療養病床における医療の質指標の開発  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅  
研究課題名： センシング技術を活用した内視鏡医およびマイクロサージャリー外科医の筋骨格系予防モニタリングシステムの開発  
研究代表機関： 産業医科大学  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

○本学共同研究機関

- ① 研究責任者： 医学部 第1外科学 学内講師 永田 淳  
研究課題名： がん治療に伴う、がん患者と家族の経済的負担と影響に関する観察研究  
研究代表機関： 愛知県がんセンター  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

8 その他

- (1) 研究終了報告2件及び進捗状況報告19件について、別紙のとおり承認された。

## 研究終了報告

承認番号	研究責任者	所属	職名	課題名
ER25-052	西野 達士	臨床検査・輸血部	主任 (医療技術職)	心臓血管外科手術における機械学習を用いた輸血量予測システムの構築
ER25-026	比嘉 幸枝	臨床検査・輸血部	副技師長	HbA1c測定器ADAMS A1c HA8190-Vを用いた溶血判定に関する検討

## 研究進捗状況報告

承認番号	研究責任者	所属	職名	課題名
ER25-004	辻 真弓	衛生学	教授	コホート研究のベースライン調査: タバコ加工工場におけるタバコ葉粉塵曝露が代謝パラメータに与える影響
IK24-002	白山 理恵	小児科学	助教	血友病診療における薬剤師介入促進および薬剤師連携のための実態調査
IK23-001	立石 和子	基礎看護学	教授	感染症蔓延下における訪問看護ステーション事業者間の相互協力連携体制の構築
R5-008	立石 和子	基礎看護学	教授	育児短時間勤務看護師とフルタイム勤務看護師の協働意識の現状と課題
R5-009	立石 和子	基礎看護学	教授	看護師長における部下育成行動とチームワーク力に及ぼす影響要因の検討
ER25-003	松浦 祐介	広域・発達看護学	教授	小手術を受けた子どもの家族における退院時の不安と退院後の困りごとについての実態調査
R5-007	宮内 博幸	作業環境計測制御学	教授	化学物質のばく露評価手法の比較・検証に関する基礎的検討
ER23-002	東 秀憲	労働衛生工学	教授	フィットファクタの支配因子探索による呼吸用保護具の適切な選択と使用のための簡易的チェック手法の検討
ER24-005	森本 泰夫	呼吸病態学	教授	国際的連携によるモンゴルの鉱山労働者の健康調査
ID24-001	榎原 毅	人間工学	教授	センシング技術を活用した内視鏡医およびマイクロサージャリー外科医の筋骨格系予防モニタリングシステムの開発
ER23-058	永野 千景	産業保健管理学	講師	暑熱環境下での運転作業におけるチラーを用いたシート冷却による体温上昇抑制効果の検討
R5-004	永野 千景	産業保健管理学	講師	通信機能付きデバイスにおける高騒音下での発話音声の明瞭度評価方法に関する研究
R5-005	永野 千景	産業保健管理学	講師	医師の長時間労働を的確に把握する方法及びその対策についての検討
R4-005	藤野 善久	環境疫学	教授	産業保健データサイエンスセンターデータベースを用いた研究
ER23-001	藤野 善久	環境疫学	教授	就労者における労働災害に関連する要因の探索
ID24-003	藤野 善久	環境疫学	教授	男性更年期障害の企業実地調査に向けたパイロット研究
ER24-008	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	生産現場のセンサデータに基づく作業負荷推定に関する研究
ID25-001	森 晃爾	産業保健経営学	教授	労務データと健康データを用いた人的資本経営ソリューション開発に関する探索的研究

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER23-056	和泉 弘人	ストレス関連疾患 予防センター	副センター長	培養細胞を使った血清投与による遺伝子発現変動の解析と基準 値の確立